

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	服装造形論Ⅲ【服装造形論】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	2年以上の服装造形論にて修得した知識・技術をもとに、応用デザインのジャケット製作、カットソー、皮革、毛皮、リバーシブル素材など特殊な素材の成り立ちや扱い方を学ぶ。様々な素材の特徴についての知識を習得し、自己の創造性の領域を広げ、オリジナリティとトレンドを意識したデザイン発想・テクニックの知識を学ぶ。							
到達目標	高級素材のジャケット(毛芯仕立て)、カットソー生地、皮革、毛皮、リバーシブルの特殊素材の成り立ちや扱い方について解釈し、様々な素材を活かしたデザインとテクニックについて説明することができる。さらに、オリジナリティとトレンドを意識したデザイン発想・テクニックの知識を追求した商品企画を実施することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	筆記試験、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント配布</li> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ(特殊素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	体型研究 ・文化式婦人原型、メンズ原型 ・各種ボディについて ・原型仮縫い方法と修正方法 ・体型の考察について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)
2	7-15 (9)	ジャケット ・高級素材の種類、扱いについて ・毛芯と接着芯の違いを知る ・毛芯仕立てについて ・接着芯の種類、使用目的について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)
3	16-24 (9)	カットソー ・カットソー生地とは ・カットソー生地の扱い方 ・カットソー生地の裁断について ・カットソー生地の縫製について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)
4	25-30 (6)	ブランドプランニング ・「ファッションマーケティングⅢ」の授業にて習得した知識をもとに、各自ブランド(仮想)における商品企画に合う素材の選択方法、縫製について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)
5	31-39 (9)	皮革 ・皮革の歴史 ・皮革の種類 ・皮革の保管方法 ・皮革の裁断、縫製について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	40-48 (9)	毛皮 ・毛皮の歴史 ・毛皮の種類 ・毛皮の保管方法 ・毛皮の裁断、縫製について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)
7	49-54 (6)	テキスタイル作品 ・「テキスタイルデザイン、テキスタイル(染色)」の授業にて習得した染色技術を活かしたデザイン発想とテクニックについて	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)
8	55-60 (6)	リバーシブル素材 ・リバーシブル生地とは ・リバーシブル生地の扱い方 ・リバーシブル生地の裁断、縫製について	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	講義	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	服装造形 デザインⅢ【服装造形 デザイン】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのデザイン・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	2年以上の服装造形デザインにて修得した知識・技術をもとに、応用デザインのジャケット製作、カットソー、皮革、毛皮、リバーシブル素材など特殊な素材のデザインを学ぶ。 様々な素材の特徴を十分に理解しデザイン発想を行う方法を習得する。 オリジナリティとトレンドを意識したデザインが追及できるよう学修する。							
到達目標	高級素材のジャケット(毛芯仕立て)、カットソー生地、皮革、毛皮、リバーシブルの特殊素材を活かしたデザインを実践することができる。さらに、オリジナリティとトレンドを意識したデザインを追求した商品企画を創造することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品の素材を活かしたデザインを評価する。					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ(特殊素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・プリント資料配布</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-12 (12)	ジャケット ・高級素材、毛芯や接着芯の副資材の知識を生かしたデザイン	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	実習	谷内(彩)
2	13-15 (3)	カットソー ・カットソー素材の特徴を生かしたデザイン	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	実習	谷内(彩)
3	16-27 (12)	ブランドプランニング ・「ファッションマーケティングⅢ」の授業にて習得した知識をもとに、自己のブランド(仮想)を起業し、そのブランドの商品をデザイン制作	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	実習	谷内(彩)
4	28-42 (15)	皮革 ・皮革素材の特徴を生かしたデザイン	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	実習	谷内(彩)
5	43-45 (3)	毛皮 ・毛皮素材の特徴を生かしたデザイン	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 授業内容の復習	実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	46-60 (15)	テキスタイル作品 ・テキスタイルデザイン、テキスタイル(染色)の授業にて習得した染色技術を生かしたデザイン	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:授業内容の復習	実習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	服装造形ソーイングⅢ【服装造形 ソーイング】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	240	単位数	8
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	2年以上の服装造形ソーイングにて習得した知識・技術をもとに、応用デザインのジャケット製作、カットソー、皮革、毛皮、リバーシブル素材など特殊な素材を使用した作品製作を通して、デザイン別、素材別の縫製方法を学修する。							
到達目標	高級仕立て(毛芯仕立て)ジャケットの縫製の理解、伸縮性のある素材や皮革・毛皮、リバーシブル素材など、デザインと素材に合わせた縫製技術を習得する。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、授業態度・姿勢を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント配布</li> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ(特殊素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
1	1-3 (3)	体型研究 ・文化式婦人原型、メンズ原型の縫製 ・原型仮縫い後の修正	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
2	4-21 (18)	ジャケット1 ・表地、裏地、芯地裁断、印付け ・芯貼り、接着テープ貼り ・毛芯裁断、毛芯作り ・ポケット付け	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
3	22-39 (18)	ジャケット2 ・毛芯据え、ハ刺し ・表身頃、裏身頃縫製 ・衿作り、衿付け ・袖作り、袖付け ・表身頃、裏身頃縫合(どんでん始末)	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
4	40-45 (6)	カットソー1 ・Tシャツ生地裁断 ・印つけ ・肩縫い、袖付け(インターロック縫製の習得) ・衿ぐり始末	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	演習 実技	谷内(彩)
5	46-51 (6)	カットソー2 ・脇縫い ・袖口、裾始末(カバーロック縫製の習得) ・仕上げアイロン	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	演習 実技	谷内(彩)

項目	時限数	学 習 内 容	事前・事後学修	学習方法	担当教員
6	52-72 (21)	ブランドプランニング1 ・各自のデザイン・素材に合わせた縫製方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
7	73-93 (21)	ブランドプランニング2 ・各自のデザイン・素材に合わせた縫製方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
8	94-114 (21)	ブランドプランニング3 ・各自のデザイン・素材に合わせた縫製方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
9	115-129 (15)	ブランドプランニング4 ・各自のデザイン・素材に合わせた縫製方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
10	130-147 (18)	皮革1 ・玉縁ボタンホール3種類、前端縫いの部分縫い ・皮革裁断、印つけ	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
11	148-165 (18)	皮革2 ・表身頃縫製 ・裏身頃縫製 ・衿付け	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
12	166-183 (18)	皮革3 ・袖付け ・表身頃、裏身頃縫合 ・スナップ、ハトメ等の扱い方 ・まとめ	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
13	184-198 (15)	毛皮 ・水張り ・裁断 ・縫製 ・部分縫い	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	演習	谷内(彩)
14	199-219 (21)	テキスタイル作品1 ・オリジナル染色生地での縫製 (ショー作品) ・各自のデザイン・素材に合わせた縫製方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技	谷内(彩)
15	220-240 (21)	テキスタイル作品2 ・各自のデザイン・素材に合わせた縫製方法  リバーシブル素材の部分縫い ・裁断、各種縫製方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実技  演習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	服装造形 平面構成Ⅲ【服装造形 平面構成】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	180	単位数	6
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	2年以上の服装造形平面構成にて修得した知識・技術をもとに、応用デザインのジャケット製作、カットソー、皮革、毛皮、リバーシブル素材など特殊な素材の作図方法を習得し、各自デザインした課題に合わせた作図技術を学ぶ。							
到達目標	高級素材のジャケット(毛芯仕立て)、カットソー生地、皮革、毛皮、リバーシブルの特殊素材を活かした作図を行うことができる。さらに、各課題の素材の特性を解釈した作図技術を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	試験	70	製図試験、出席状況にて評価する。					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント配布</li> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ(特殊素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-36 (36)	ジャケット ・マニピレーション3面体ジャケット ・ジャケットデザイン応用 ・高級素材(毛芯仕立て)作図方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)
2	37-60 (24)	カットソー ・カットソー作図方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	講義 演習	谷内(彩)
3	61-90 (30)	ブランドプランニング ・「ファッションマーケティングⅢ」の授業にて習得した知識をもとに、自己のブランド(仮想)を起業し、そのブランドの商品を製作するための作図方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)
4	91-126 (36)	皮革 ・ライダースジャケットの作図 ・ブルゾンの作図 ・カジュアルパンツの作図	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)
5	127-150 (24)	毛皮 ・ショール、スベアカラーの作図方法 ・トレンドに合わせた毛皮小物の作図	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	151 -180 (30)	テキスタイル作品 ・各自制作するオリジナルテキスタイルに合わせた作 図方法	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)



令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	服装造形 立体構成Ⅲ【服装造形 立体構成】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員・講師	谷内 彩子・佐藤慎権	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>海外の企業にてモデリストを経験後、独自の考案した技術を国内外の学校にて指導した経験を生かし、実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>2年以上の服装造形立体構成にて修得した知識・技術をもとに、トワルなどを使用してプリーツスカート、ドレープデザインジャケットの構造とテーラードの立体裁断の技法、シルエットの表現テクニックとディテールの構造について学ぶ。</p> <p>TRパターンのテクニックを学び、人体の構造とデザインバランス、複雑な図形を使用した立体的デザインの構成について学修する。</p>							
到達目標	<p>・トワルなどを使用してプリーツスカート、ドレープデザイン、ジャケットの構造とテーラードの立体裁断の技法、シルエットの表現テクニックとディテールの構造、トータルバランスを創造することができる。</p> <p>・TRパターンのテクニックにより人体の構造を理解し、デザインバランスと複雑な図形を使用した立体的デザインの発想力と技術を表現することができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、出席状況を総合して評価する。					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<p>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局)</p> <p>・プリント資料配布</p> <p>・佐藤慎権配信「TRpattern」動画</p>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-13 (13)	スカート ・ヨーク切り替え位置とプリーツのデザイン表現とバランス	事前:タイトスカート平面構成の考察 事後:課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)
2	14-26 (13)	ジャケット ・ジャケット身頃のシルエット表現 ・テーラードカラーの構造	事前:テーラージャケット平面構成の考察 事後:課題作品の製作の復習	演習	谷内(彩)
3	27-47 (21)	TRパターン ・人体の構造を理解したデザイン線について ・ORIGAMIテクニックやトロンプユテクニックなど複数のTRパターンテクニック	事前:上記動画閲覧 事後:課題作品の製作の復習	演習 実習	谷内(彩) 佐藤
4	48-60 (13)	ドレープデザイン ・タックやギャザー、展開の反動による「ドレープ」のデザインについて ・バイアス地の目	事前:ドレープデザインに興味を持つ 事後:課題作品の製作の復習	実習	谷内(彩)
5					

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	アパレル生産管理Ⅲ【生産企画・生産管理・アパレル品質論(素材論)】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	3
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>生産企画 ・生産工場などの製品を所定の納期までに生産する流れを学ぶ。</p> <p>生産管理 ・アパレル産業を把握し、製品の品質・原価・の納期に関する知識を高める。</p> <p>アパレル品質論・素材論 ・高級素材、特殊素材のもつ布地の性質を理解し、製品の品質、素材の取り扱いを学修する。</p>							
到達目標	<p>生産企画：生産工場などの製品を所定の納期までに生産する流れを解釈することができる。</p> <p>生産管理：製品を生産するにあたり納期を意識したスケジュール管理、製品の品質、原価を認識することができる。</p> <p>アパレル品質論・素材論：高級素材、特殊素材のもつ素材の性質を解釈し、製品の品質、素材の取り扱いを行うことができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	70	課題提出、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ(特殊素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・プリント配布資料</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	生産企画① ・製造原価の算出と下代設定	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察	講義 実習	谷内(彩)
2	6-10 (5)	生産企画② ・品質確認 ・加工品質の設定	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	谷内(彩)
3	11-12 (2)	生産管理① ・生産の流れを予測、計画する方法	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	谷内(彩)
4	13-15 (3)	生産管理② ・縫製仕様書・加工指示書など書類作成方法	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	谷内(彩)
5	16-18 (3)	アパレル品質論・素材論① カットソー ・編みの仕組みによる素材の名称 ・ニット製品の洗濯方法、取り扱い方 ・編み糸の太さの見方、撚り構成について	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	19-22 (4)	アパレル品質論・素材論② 高級素材 ・高級ウール、高級素材の名称 ・接着芯と非接着芯(毛芯、パンピースなど)について ・製品の取り扱い方	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察 レポートの作成	講義 実習	谷内(彩)
7	23-26 (4)	アパレル品質論・素材論③ 皮革、毛皮 ・皮革・毛皮の種類、名称 ・皮革、毛皮製品の洗濯方法、保管方法、取り扱い方			
8	27-30 (4)	アパレル品質論・素材論④ テキスタイル作品、ブランドプランニング ・染色素材の扱い方 ・先染め、後染め、製品染めなどの加工知識			

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	パターンメイキングⅢ【パターンメイキング】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	オリジナルデザインと素材の特性を考えながら、シルエット出しや縫製を考慮したパターンメイキングを行う技術と知識を学ぶ。また平面構成、立体構成、工業用パターンメイキングの基礎知識を応用し、様々なアイテムのデザインと縫製を考慮しながらパターンメイキングを行う方法を学修する。							
到達目標	オリジナルデザインと素材の特性を考えながら、シルエット出しや縫製を考慮したパターンメイキングを行う技術と知識を実践することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	70	制作物、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント配布</li> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ(高級素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ(特殊素材)』文化服装学院編(文化出版局)</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	体型研究 ・文化式原型作成	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
2	4-15 (12)	ジャケット ・オリジナルデザインのパターンメイキング	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
3	16-18 (3)	ジャケット立体構成 ・テーラードカラージャケットの立体構成から習得したパターンメイキングの補正	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
4	19-21 (3)	ドレープデザイン立体構成 ・ドレープデザインの立体構成から習得したパターンメイキングの補正	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
5	22-33 (12)	ブランドプランニング ・オリジナルデザインのパターンメイキング	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	34-45 (12)	皮革 ・オリジナルデザインのパターンメイキング	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
7	46-60 (15)	テキスタイル作品 ・オリジナルデザインのパターンメイキング	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	アパレルパターンメイキングⅢ 【工業パターンメイキング・グレーディング・CADパターンメイキング・CADグレーディング・CADマーキング】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	90	単位数	3
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	工業パターンメイキング：縫製方法と素材の特性に合わせたパターンの展開、縫代付けを学ぶ。 グレーディング：性別、年齢などによるサイズの変化を理解し、グレーディング技法（ジャケット・パンツ）を学ぶ。 CADパターンメイキング：PCにてアパレルCADソフトを使用し、デジタルでのパターンメイキングのテクニックを学修する。 2DCAD、3DCADの利便性を考慮しながらパターンメイキングを行う方法を学ぶ。 CADグレーディング：PCにてアパレルCADソフトを使用し、デジタルでのグレーディングテクニックを学修する。 CADマーキング：PCにてアパレルCADソフトを使用し、デジタルでのグレーディングテクニックを学修する。							
到達目標	工業パターンメイキング：縫製方法と素材の特性に合わせたパターンの展開、縫代付けの技法を実践することができる。 グレーディング：性別、年齢などによるサイズの変化を理解し、グレーディング（ジャケット・パンツ）の技法を実践することができる。 CADパターンメイキング、CADグレーディング、CADマーキング：東レACSクレアコンポのアパレルCADソフトの操作方法による、パターンメイキング・グレーディング、マーキングなどがCADを使用しデジタルで操作することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	制作物	40	制作物、試験、出席状況を総合して評価する					
	試験	40						
	授業態度・姿勢	20						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④『ジャケット・ベスト』文化服装学院編（文化出版局）</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑥『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』文化服装学院編（文化出版局）</li> <li>・文化ファッション大系 服飾造形講座⑦『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』文化服装学院編（文化出版局）</li> <li>・プリント資料配布 ・東レACS株式会社クレアコンポⅡ（パターンマジック・マーカーマジック）</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-13 (13)	工業パターンメイキング① ジャケット ・オリジナルデザインのパターン展開、縫代付け	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
2	14-26 (13)	工業パターンメイキング② ブランドプランニング ・オリジナルデザインのパターン展開、縫代付け	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
3	27-38 (12)	工業パターンメイキング③ 皮革 ・オリジナルデザインのパターン展開、縫代付け	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
4	39-51 (13)	工業パターンメイキング④ テキスタイル作品 ・オリジナルデザインのパターン展開、縫代付け	事前：上記テキストの該当箇所を読む 事後：テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
5	52-57 (6)	グレーディング① ・グレーディングとは ・性別、年齢によるサイズ表記 ・グレーディングピッチ ・テーラードジャケットのグレーディング準備	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
6	58-63 (6)	グレーディング② ・テーラードジャケットのグレーディング ・テーラードジャケット4面体、切替線移動 ・2枚袖	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
7	64-69 (6)	グレーディング③ ・パンツのグレーディング	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)
8	70-72 (3)	CADパターンメイキング① ・アパレルCADについて ・2DCADの利便性について ・3DCADのデモンストレーション ・原型作成、タイトスカート作成	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	講義 演習	谷内(彩)
9	73-75 (3)	CADパターンメイキング② ・アイテム原型(シャツ)からデザインに合わせたパターンメイキング方法 ・ヨーク切替、前立て作成 ・パーツ化	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	講義 演習	谷内(彩)
10	76-78 (3)	CADパターンメイキング③ ・情報付け ・縫代付け ・パターンチェック方法	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	講義 演習	谷内(彩)
11	79-84 (6)	CADグレーディング ・グレーディングソフトの操作方法 シャツのルール付け、サイズ指示、展開	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	講義 演習	谷内(彩)
12	85-87 (3)	CADマーキング ・マーキングソフトの操作方法 CADパターンメイキング ・CADパターンメイキング②③の復習 ・試験予習	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	講義 演習	谷内(彩)
13	88-90 (3)	CADパターンメイキング④ ・試験	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: テキスト該当箇所の復習、考察	実習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	メンズ造形【メンズ造形 平面構成・メンズ造形 ソーイング】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	塚田 祐士・谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレルメーカーでのパタンナーを経験後、縫製工場を経営し、製造管理等の実務を生かした実践的な授業を行う。 アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な紳士服のジャケット、パンツの平面作図の構造を学ぶ。</li> <li>オリジナルジャケットの平面作図方法習得する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な紳士服のジャケット、パンツの平面作図の構造を解釈し、平面製図をかくことができる。</li> <li>オリジナルジャケットの平面作図方法を理解し、かくことができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	メンズ造形 平面構成① ・メンズ3面体ジャケットの構造 ・ラペルの書き方 ・メンズ3面体ジャケットの平面製図(身頃)	事前:上記テキストの該当箇所を読む 事後:授業内容の復習	実習	塚田
2	4-5 (2)	メンズ造形 平面構成② ・パーカー、台衿付きシャツ、開衿の書き方 ・衿付きブルゾンなど衿ぐり線の書き方	事前:オリジナルメンズデザイン画準備 事後:課題作品の製作の復習・考察	実習	塚田
3	6-9 (4)	メンズ造形 平面構成③ ・オリジナルメンズ3面体ジャケットの平面製図 ・袖の書き方	事前:前回の平面製図の見直し 事後:課題作品の製作の復習・考察	実習	塚田
4	10-13 (4)	メンズ造形 平面構成④ ・オリジナルメンズ3面体ジャケットの平面製図	事前:前回の平面製図の見直し 事後:課題作品の製作の復習・考察	実習	塚田
5	14-15 (2)	メンズ造形 平面構成⑤ ・メンズパンツパターン ・前後のデザイン(シルエット)をパターンで見る方法 ・パンツパターンの修正 ・ラブオフ技法の説明	事前:前回の平面製図の見直し 事後:課題作品の製作の復習・考察	実習	塚田



項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	16-20 (5)	メンズ造形 メンズソーイング① ・一重仕立てジャケットの裏仕様の説明	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習・考察	実習	谷内(彩)
7	21-25 (5)	メンズ造形 メンズソーイング② ・一重仕立てジャケットの縫製説明	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習・考察	実習	谷内(彩)
8	26-30 (5)	メンズ造形 メンズソーイング③ ・一重仕立てジャケットの仕上げ、まとめ説明	事前: 上記テキストの該当箇所を読む 事後: 課題作品の製作の復習・考察	実習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	ファッションデザインⅢ【ファッションデザイン画・ファッションデザインCG】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	古澤 暁子・谷内 彩子・高野 勇希	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>アパレル企業でのデザイン・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>企業でのデザイン・生産管理経験を生かし、主にユニフォームのデザイン・生産・経営実績を基に、実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>ファッションデザイン画(古澤):人体のプロポーション、衣服着装の表現技術の応用を学修する。コンテスト作品に応募する。</p> <p>ファッションデザイン画(谷内彩):製作する課題作品のデザイン画についてディテールや丈感などのバランスを習得する。</p> <p>ファッションデザインCG(高野):Illustrator、Photoshopの基本操作を学修する。手書きで描いたファッションデザイン画をPCのデザインソフトにてデジタル化し、生地質感や柄の表現方法、縫製仕様書の作成を学ぶ。</p>							
到達目標	<p>ファッションデザイン画:人体のプロポーション、衣服着装の表現技術を応用することができる。コンテスト作品に応募し参加することができる。</p> <p>製作する作品のデザイン画をディテールや丈感などバランスに留意し、デザインイメージを他者に伝える技術を示すことができる。</p> <p>ファッションデザインCG:Illustrator、Photoshopの基本操作し、手書きで描いたファッションデザイン画をPCのデザインソフトにてデジタル化を行うことができる。生地質感や柄の表現を細部まで工夫することができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント資料配布</li> <li>・Adobe Illustrator</li> <li>・Adobe Photoshop</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	ファッションデザイン画① ・オリジナルジャケットデザインのスタイル画制作 ・オリジナルジャケットデザインのアイテム図制作	事前:服装造形ソーイングⅢにて製作するジャケットの構成を考察 事後:自主制作	実習	古澤
2	4-6 (3)	ファッションデザイン画② ・コンテスト応募デザイン画制作	事前:コンテスト情報収集 事後:課題作品の自主制作・復習	実習	古澤
3	7-9 (3)	ファッションデザイン画③ ・コンテスト応募デザイン画制作	事前:デザインアイデア収集 事後:課題作品の自主制作・復習	実習	古澤
4	10-12 (3)	ファッションデザイン画④ ・コンテスト応募デザイン画制作	事前:デザインアイデア収集 事後:課題作品の制作・復習	実習	古澤
5	13-15 (3)	ファッションデザイン画⑤ ・製作作品のデザインについてディテールや丈感などバランス	事前:課題作品のデザイン情報収集 事後:課題作品のデザインの考察	実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	16-18 (3)	ファッションデザインCG① ・オリジナルジャケットデザインのスタイル画スキャン ・オリジナルジャケットデザインのスタイル画作成 ・Photoshop操作 ・パス、マスク、レイヤーなどの基本操作	事前:CGデザインについて興味を持つ 事後:デザインソフトの操作の自主練習	演習	高野
7	19-21 (3)	ファッションデザインCG② ・オリジナルジャケットデザインのスタイル画作成 ・Photoshop操作 ・テキスタイルの表現方法	事前:資料該当箇所を読む 事後:デザインソフトの操作の自主練習	演習	高野
8	22-24 (3)	ファッションデザインCG③ ・オリジナルジャケットデザインのスタイル画作成 ・Photoshop操作 ・フォント表現、文字レイアウト	事前:フォントデザインの情報収集 事後:デザインソフトの操作の自主練習	演習	高野
9	25-27 (3)	ファッションデザインCG④ ・オリジナルジャケットデザインのスタイル画作成 ・Photoshop操作 ・切り抜き、合成など応用操作	事前:資料該当箇所を読む 事後:デザインソフトの操作の自主練習	演習	高野
10	28-30 (3)	ファッションデザインCG⑤ ・名刺作成 ・Illustrator操作	事前:資料該当箇所を読む 事後:デザインソフトの操作の自主練習	演習	高野

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名		ファッションデザイン学Ⅲ 【テキスタイルデザイン・メンズデザイン・ファッション情報】						
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	酒井 アキノ・塚田 祐士・谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	海外の織物博物館にて学芸員として培った染色研究経験、作家活動を生かした実践的な授業を行う。 アパレルメーカーでのパタンナーを経験後、縫製工場を運営し、製造管理等の実務を生かした実践的な授業を行う。 アパレル企業でのデザイン・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
	メンズデザイン(塚田) ・紳士服のパターン構成やディテールを理解し、メンズのファッションデザインについて学ぶ。 ファッション情報(谷内彩) ・雑誌やテレビ、インターネット等から情報収集し、市場調査を行いクリエイティブな創造力を高める。							
到達目標	テキスタイルデザイン:染色方法や素材の知識、構造を解釈し、オリジナルのテキスタイルデザインを創造することができる。 メンズデザイン:紳士服のパターン構成やディテールを解釈し、メンズのファッションデザインを創造することができる。 ファッション情報:雑誌やテレビ、インターネット等から情報収集し、市場調査を行い情報を説明することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	制作物	40	レポート提出、出席状況を総合して評価する					
	レポート	30						
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布 参考文献 ・『染色の基礎知識 合成染料の技法』高橋誠一郎 著(染織と生活社)							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (3)	テキスタイルデザイン① オパール加工(型染め) ・オパール生地の特性について ・柄のリピート構成	事前:柄(パターン)の情報収集 事後:授業内容の復習、作品制作	講義 実習	酒井
2	4-6 (3)	テキスタイルデザイン② シルクスクリーン ・シルクスクリーンの版について ・プリント(顔料)手順	事前:プリントデザインの情報収集 事後:授業内容の復習、作品制作	講義 実習	酒井
3	7-9 (3)	テキスタイルデザイン③ ろうけつ染め ・防染について ・引染め技法	事前:防染による染め技法の情報収集 事後:授業内容の復習、作品制作	講義 実習	酒井
4	10-12 (3)	テキスタイルデザイン④ ・オリジナルテキスタイルデザイン(ショー作品) ・染色技法を活かしたデザイン構成	事前:デザインイメージ 事後:授業内容の復習、作品制作	講義 実習	谷内(彩)
5	13-18 (6)	メンズデザイン ・紳士服のパターン構成とデザイン ・衿、袖、ポケットなどのディテールの理解	事前:ジャケットディテールについて考察 事後:授業内容の復習	講義	塚田

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	19-24 (6)	ファッション情報① ・メディアやインターネットを使用したリサーチ ・街頭でのマーケットリサーチ(市場調査) ・トレンド分析	事前:情報収集の種類について考察 事後:授業内容の復習、レポートの作成	講義 実技	谷内(彩)
7	25-30 (6)	ファッション情報② ・情報のまとめ ・レポート作成方法	事前:リサーチ内容について考察 事後:授業内容の復習、レポートの作成	講義 実技	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	服飾工芸Ⅲ【テキスタイル・アパレル染色演習・アクセサリー】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	酒井 アキノ・谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	海外の織物博物館にて学芸員として培った染色研究経験、作家活動を生かした実践的な授業を行う。 アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	アパレル染色演習(酒井) ・シルクスクリーンやろうけつ染めなど、演習を通して様々な生地組成に合わせた染色技法を学ぶ。 テキスタイル(谷内彩) ・アパレル染色演習にて染色の知識を理解し、ファッションショーにて発表するオリジナルの染色テキスタイルを制作し学ぶ。 アクセサリー(谷内彩) ・アクセサリーの構造、製作方法を理解し、製作衣服のデザインに合わせたアクセサリーのデザインから製作までを学ぶ。							
到達目標	テキスタイル:ファッションショーにて発表するオリジナルの染色テキスタイルを制作し、染色技術を応用することができる。 アパレル染色演習:シルクスクリーンやろうけつ染めなど、演習を通して様々な生地組成に合わせた染色技法を実践することができる。 アクセサリー:アクセサリーの構造、製作方法を解釈し、製作衣服のデザインに合わせたアクセサリーのデザイン製作を工夫することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	作品	70	課題作品、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	参考資料 ・『染色の基礎知識 合成染料の技法』高橋誠一郎 著(染織と生活社) ・文化ファッション大系 ファッション流通講座④『コーディネートテクニック アクセサリー編Ⅱ』文化服装学院編(文化出版局) ・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-9 (9)	アパレル染色演習① オパール加工 ・型作り ・浸染	事前:デザイン制作 事後:プリント資料の復習	実習	酒井
2	10-18 (9)	アパレル染色演習② シルクスクリーン ・原稿作成 ・シルクスクリーン版作成 ・プリント(顔料)	事前:デザイン制作 事後:プリント資料の復習	実習	酒井
3	19-27 (9)	アパレル染色演習③ ろうけつ染め ・ロウの扱い方 ・引染め	事前:デザイン制作 事後:プリント資料の復習	実習	酒井
4	28-42 (15)	テキスタイル ・オリジナルテキスタイル制作(ショー作品生地)	事前:アパレル染色演習での資料を予習 事後:制作物の考察	実習	谷内(彩)
5	43-48 (6)	アクセサリー① ・デザインイメージ ・素材、材料について ・デザイン決定	事前:雑誌やインターネットを使用し、アクセサリーデザインについて興味を持つ 事後:制作物の材料準備	実習	谷内(彩)

項目	時限数	授 業 内 容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	49-60 (12)	アクセサリー② ・パーツや工具の使い方 ・実物製作	事前:前回の振り返り 事後:制作物についての考察	実習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	ファッションビジネス論Ⅲ 【ファッションビジネス論・リテールマーチャンダイジング(計数)・ストアマネジメント】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	谷内 彩子・坂口 昌章・若杉 恭子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	<p>アパレル企業でのパタンナー・生産管理などの経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>ファッションブランド企画、新事業、コンサルティングの実務経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>百貨店や専門店での営業、販売促進・企画の経験を生かし、実践的な授業を行う。</p>							
授業概要	<p>ファッションビジネス論(坂口)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急速に移り変わるアパレル産業の現状を正しく理解し、将来のアパレル産業の展望を考察する力を身につける。</li> </ul> <p>リテールマーチャンダイジング(計数)(谷内彩)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原価、利益、粗利など、生産、流通に関わる計数管理を学ぶ。</li> </ul> <p>ストアマネジメント(若杉)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗での接客、商品の量、計数管理など店舗運営管理の知識を学修する。</li> </ul>							
到達目標	<p>ファッションビジネス論:アパレル産業の現状を正しく解釈し、将来のアパレル産業の展望を予測することができる。</p> <p>リテールマーチャンダイジング(計数):原価、利益、粗利など、生産、流通に関わる計数管理を実施することができる。</p> <p>ストアマネジメント:店舗での接客、商品の量、計数管理など店舗運営管理を行うことができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
	レポート	70	レポート提出、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント資料配布</li> <li>参考文献</li> <li>・専門誌『ファッション販売』(RIC)</li> <li>・Office PowerPoint</li> </ul>							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-9 (9)	ファッションビジネス論① ・マーチャンダイジングについて ・デザイナー、パタンナー、生産管理について	事前:プリント資料の該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察	講義	谷内(彩)
2	10-12 (3)	ファッションビジネス論② ・アパレル産業の現状-1	事前:経済ニュースから情報を収集する 事後:授業内容の復習、考察	講義	坂口
3	13-15 (3)	ファッションビジネス論③ ・アパレル産業の現状-2	事前:経済ニュースから情報を収集する 事後:授業内容の復習、考察	講義	坂口
4	16-18 (3)	ファッションビジネス論④ ・アパレル産業の現状-3	事前:経済ニュースから情報を収集する 事後:授業内容の復習、考察 レポートの作成	講義	坂口
5	19-24 (6)	リテールマーチャンダイジング ・原価計算 ・生産、流通に関わる計数管理	事前:プリント資料の該当箇所の予習 事後:プリント資料の復習、考察 レポートの作成	講義	谷内(彩)



項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
7	25-27 (3)	ストアマネジメント① `24 S/S企画 ・店舗レイアウト	事前:街頭リサーチ 事後:授業内容の復習、考察	講義	若杉
8	28-30 (3)	ストアマネジメント② 店舗における計数管理 ・売上、粗利益、人件費など	事前:プリント該当箇所の予習 事後:授業内容の復習、考察	講義	若杉

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	ファッションマーケティングⅢ 【ファッションマーケティング・ファッションマーチャライジング・ビジュアルマーチャライジング・ マーケットリサーチ・セールスプロモーションⅡ・インテリアコーディネート・ブランドプランニング】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	若杉 恭子・高橋 洋平	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	百貨店や専門店での営業、販売促進・企画の経験を生かし、実践的な授業を行う。 企業にて広告デザインを経験後、WEB集客プロデューサーに転向し、その経営実績を基に、実践的な授業を行う。							
授業概要	ファッションマーケティング・ファッションマーチャライジング・ビジュアルマーチャライジング・マーケットリサーチ・ コーディネート・ブランドプランニング(若杉) オリジナルブランドを企画・販売することを想定し、そのためのファッションマーケティング全般を学修する。 商品開発のための市場調査(マーケットリサーチ)、分析を行い、自己のブランド企画から販売までの計画と管理を組み 立てる仕組みを学ぶ。また販売店舗の什器選択、配置などビジュアルマーチャライジングを学修する。 セールスプロモーション(高橋):基本的な広告論を理解し、自己の企画するブランドの広告活動を考察する。							
到達目標	・ブランドの企画から販売まで、ファッションマーケティング全般の知識を関連づけることができる。 ・商品開発のための市場調査(マーケットリサーチ)、分析ができる。自己のブランド企画から販売までの計画と管理を組み 立て示すことができる。また販売店舗の什器選択、配置などビジュアルマーチャライジングを行うことができる。 ・基本的な広告論を解釈し、自己の企画するブランドの広告活動を組み立て、説明することができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考					
	プレゼンテーション	70	プレゼンテーション、出席状況を総合して評価する					
	授業態度・姿勢	30						
教材	・プリント資料配布 ・Office PowerPoint							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-6 (6)	ファッションマーケティング① ・授業オリエンテーション/ブランド企画 ・ブランド企画の手順 ・ターゲットのライフスタイル ・市場調査の意味と手順	事前:ブランドについての情報収集 事後:授業内容の復習、考察	講義	若杉
2	7-12 (6)	マーケットリサーチ ・街頭リサーチ(市場調査)の実習	事前:撮影写真の考察と準備 事後:パワーポイントデータ作成	講義 実習	若杉
3	13-15 (3)	ファッションマーケティング② ・街頭リサーチ(市場調査)の整理	事前:撮影写真の考察と準備 事後:パワーポイントデータ作成	講義 実習	若杉
4	16-18 (3)	ファッションマーチャライジング① ・コンセプト企画 ・ターゲット	事前:配布資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習、考察 パワーポイントデータ作成	講義 実習	若杉
5	19-21 (3)	ファッションマーチャライジング② ・コンセプト企画 ・テーマ&コンセプト	事前:配布資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習、考察 パワーポイントデータ作成	講義 実習	若杉

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
6	22-24 (3)	ファッションマーチャンダイジング③ ・中間プレゼンテーション	事前:プレゼンテーション準備、練習 事後:プレゼンの振り返り、考察	講義 実習	若杉
7	25-27 (3)	ブランドプランニング① ・'24 S/S企画 ・ブランドテーマ&コンセプト	事前:配布資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習、考察	講義 実習	若杉
8	28-30 (3)	ブランドプランニング②	事前:配布資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習、考察	講義 実習	若杉
	31-33 (3)	インテリアコーディネート ・'24 S/S企画 ・コーディネート提案		講義 実習	
9	34-36 (3)	ブランドプランニング③	事前:配布資料の該当箇所を読む 事後:授業内容の復習、考察	実習	若杉
	37-39 (3)	ビジュアルマーチャンダイジング ・'24 S/S企画 ・コーディネート提案		演習	
10	40-42 (3)	セールスプロモーションⅡ① ・タッチポイントについて ・タッチポイントの発見と考察 ・集客経路の考察と設計	事前:日常目にする広告に興味を持つ 事後:授業内容の復習、考察	講義	高橋
11	43-45 (3)	セールスプロモーションⅡ② ・告知チャネル~どのように知ってもらうか ・集客方法と情報量の推移・ECのプロモーション ・様々な広告手法とインターネット広告 ・顧客の分類、顧客リストの収集・SNS活用・PR手法	事前:SNSの広告から情報を収集する 事後:授業内容の復習、考察	講義	高橋
12	46-48 (3)	セールスプロモーションⅢ③ ・販売チャネル~どのように購入してもらうか ・オフライン/オンラインの販売手法 ・企画書作成 ・世界観とテクノロジーによる販売手法 ・誰に向けて情報を届けるか、商品紹介の言語化	事前:SNSの広告から情報を収集する 事後:授業内容の復習、考察 パワーポイントデータ作成	講義	高橋
13	49-51 (3)	セールスプロモーションⅢ④ ・ブランドによる差別化とコモディティ化 ・企画書作成のヒントとデータ活用 ・企画書作成、アドバイス	事前:オリジナルブランドの特徴を説明 できるようまとめる 事後:授業内容の復習、考察 パワーポイントデータ作成	講義	高橋
15	52-54 (3)	セールスプロモーションⅢ⑤ ・プレゼンテーションのポイントと情報伝達のコンテ ンツ ・企画書作成、アドバイス	事前:プレゼンテーション準備、練習 事後:授業内容の復習、考察 パワーポイントデータ作成	講義 実習	高橋
15	55-57 (3)	ブランドプランニング④	事前:プレゼンテーション準備、練習 事後:プレゼンの振り返り、考察	実習	若杉
	58-60 (3)	セールスプロモーションⅢ⑥ ・プレゼンテーション		講義	高橋

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	ファッションコーディネートⅢ【コーディネート論・コーディネート演習】						
科目担当責任者	谷内 彩子・吉野 翠	実務経験	有 無	時限数	30	単位数	1
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤 非常勤	授業期間	前期 後期	通年	
実務経験を生かした教育内容	<p>アパレル企業でのパタンナー・生産管理などの経験を生かし、実践的な授業を行う。</p> <p>縫製工場での縫製、ユニフォーム製造企業での企画・デザイナー経験を生かし、実践的な授業を行う。</p>						
授業概要	<p>コーディネート論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイテムや色彩を考えたコーディネイトの応用を学ぶ。服と体型のバランス、アクセサリーの合わせ方、さまざまなコーディネートの楽しさを学修する。</li> </ul> <p>コーディネート演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の製作した作品に対して、色彩や小物の活用でより効果的なコーディネートで創造力を表現できるテクニックを学ぶ。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネート論を学ぶことにより、自己の製作した作品に対して、着装した際の体型に合わせたバランスや色彩・小物の活用でより効果的なコーディネートを見せることができる。</li> <li>・作品発表やファッションショーなど表現の場において、コーディネートの提案を示すことができる。</li> </ul>						
評価	評価対象	評価割合(%)	備 考				
	プレゼンテーション	50	作品発表、出席状況を総合して評価する				
	授業態度・姿勢	50					
教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ファッション雑誌</li> </ul>						

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-3 (15)	<p>コーディネート論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体型カバー、服と体型のバランス</li> <li>・アクセサリー小物の合わせ方</li> <li>・トレンドアイテムについて</li> </ul>	<p>事前:体型、アイテムについて興味を持つ</p> <p>事後:トレンドアイテムについての考察</p>	講義	谷内(彩)
2	4-18 (7)	<p>コーディネート演習①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品の着装発表 (作品発表会、ファッションショー)</li> </ul>	<p>事前:マーケットリサーチを行う</p> <p>事後:作品発表の振り返り、考察</p>	演習	谷内(彩) 吉野
3	19-30 (8)	<p>コーディネート演習②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品の着装発表 (学年プレゼンテーション)</li> </ul>	<p>事前:マーケットリサーチを行う</p> <p>事後:作品発表の振り返り、考察</p>	演習	谷内(彩) 吉野
4					
5					

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	キャリア教育Ⅲ【就職ガイダンス・インターンシップ】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	60	単位数	2
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	企業での知識は経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>就職ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職にむけて、自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、面接練習等、実践的に習得する。また、学校内外の会社説明会に積極的に参加する。</li> </ul> <p>企業研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問や協力企業にて企業研修(インターンシップ)を行い、将来の職業に対する向上心を高める。</li> <li>・企業で即戦力となる、専門知識や技術および態度を習得する。</li> </ul>							
到達目標	<p>就職ガイダンス</p> <p>自己について解釈し、他者に自身のことを説明することができる。履歴書・エントリーシートなどの書類作成、就職面接に対応する適切な態度を実践することができる。</p> <p>企業研修: 企業訪問や企業研修を行うことで、社会人としての考え方、行動を実践することができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-5 (5)	<p>就職ガイダンス①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動の進め方について</li> <li>・自己分析表の作成</li> </ul> <p>(履歴書や面接時の自己PRとなる自己の性格や経験を文章化する)</p>	<p>事前: 職業について情報収集する</p> <p>事後: 作成した自己分析表を読み、自己の強みを振り返る</p>	講義	谷内(彩)
2	6-10 (5)	<p>就職ガイダンス②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書の作成 自己分析表を元に作成する</li> <li>・模擬面接①</li> </ul> <p>(各自が希望する職業、服飾関連企業にて面接する事を想定した模擬面接を行う)</p>	<p>事前: 資料該当箇所を読む</p> <p>事後: 模擬面接①の反省・振り返り</p>	講義	谷内(彩)
3	11-15 (5)	<p>就職ガイダンス③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬面接②</li> </ul> <p>(模擬面接1での反省を踏まえ、再度模擬面接を行い改善を図る)</p>	<p>事前: 履歴書、自己分析表を読む</p> <p>事後: 模擬面接②の反省・振り返り</p>	講義	谷内(彩)
4	16-52 (35)	<p>インターンシップ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問、企業研修への心構え</li> </ul> <p>(協力企業にて企業訪問、企業研修を行う)</p>	<p>事前: 訪問企業について調べる</p> <p>事後: 研修内容・態度の振り返り</p>	実習	谷内(彩)
5	51-60 (10)	<p>インターンシップ②</p> <p>実習記録の記入、反省と考察</p> <p>(企業研修後、職業観を考え確立する)</p>	<p>事前: 研修内容をまとめる</p> <p>事後: 自己の職業観についての振り返り</p>	実習	谷内(彩)

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	一般教養Ⅲ【ビジネスマナー・美術鑑賞】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理などの経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>ビジネスマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の仕方や姿勢、服装の身だしなみ、言葉遣いなど社会人として必要なマナーを学修する。</li> <li>電話対応、Eメールやあいさつ文の書き方を習得する。</li> </ul> <p>美術鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術館などを見学し、芸術に触れ、創造力や感性を養う。</li> </ul>							
到達目標	<p>ビジネスマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会人として場所や状況に合わせた礼儀作法を実践することができる。</li> <li>ビジネスの場で必要な書類作成、コミュニケーション力を示すことができる。</li> </ul> <p>美術鑑賞:美術館などを見学し、本物をにに触れることで知識・感性を養い、芸術(美術)について解釈することができる。</p>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-15 (15)	<p>ビジネスマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話対応について</li> <li>Eメールやあいさつ文の書き方</li> </ul>	<p>事前:配布資料の該当箇所を読む</p> <p>事後:就職活動やインターンシップ先へ連絡する際実践する</p>	講義	谷内(彩)
2	16-30 (15)	<p>美術鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術館、博物館にて芸術(美術)鑑賞</li> </ul>	<p>事前:開催内容について調べる</p> <p>事後:鑑賞作品について考察する</p>	講義	谷内(彩)
3					
4					
5					

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	特別授業【校外研修・特別講義】							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	無	時限数	30	単位数	1
担当教員	谷内 彩子	区分	常勤	非常勤	授業期間	前期	後期	通年
実務経験を生かした教育内容	アパレル企業でのパタンナー・生産管理経験を生かし、実践的な授業を行う。							
授業概要	<p>校外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場、作品展示会、ファッションショーなどを見学・参加し、知識及び情報を収集し感性を磨く。</li> </ul> <p>特別講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の方やデザイナーなど、様々な専門家を招き、講義を受けることによりファッション業界の現状を学ぶ。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を行うことによって、外部とコミュニケーションすることができる。</li> <li>企業の方やデザイナーなど、ファッション業界の専門家から直接講義を受けることにより、専門知識や技術を学修する意義を解釈することができる。</li> </ul>							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	特になし							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-15 (15)	<p>校外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場、作品展示見学</li> <li>ファッションショーなどの見学・参加</li> </ul>	<p>事前: 研修先について情報収集する</p> <p>事後: 研修内容の振り返り</p>	講義	谷内(彩)
2	16-30 (15)	<p>特別講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アパレルメーカーやデザイナーなどファッション業界の専門家による講義</li> </ul>	<p>事前: 特別講師について情報収集する</p> <p>事後: 講義内容について振り返り・考察</p>	講義	谷内(彩)
3					
4					
5					

令和6年度

ファッション専門課程 ファッション研究科

授業科目名	学校行事							
科目担当責任者	谷内 彩子	実務経験	有	<input type="radio"/> 無	時限数	30	単位数	1
担当教員	谷内 彩子	区分	<input checked="" type="radio"/> 常勤	<input type="radio"/> 非常勤	授業期間	前期	後期	<input checked="" type="radio"/> 通年
実務経験を生かした教育内容								
授業概要	新入生歓迎会・募金活動・スクールピクニック・針供養などの行事を通し、コミュニケーション能力、社会貢献活動の意義、日本の伝統文化を学修する。							
到達目標	・全学生が行事に参加することにより、他者とのコミュニケーションを強化することができる。 ・針供養を通し、日本の伝統行事を継承し解釈をすることができる。							
評価	評価対象	評価割合(%)	備考					
			受講認定					
教材	・プリント資料配布							

項目	時限数	授業内容	事前・事後学修	授業形態	担当教員
1	1-30 (30)	新入生歓迎会 スクールピクニック 針供養	事前: 行事について情報収集する 事後: 行事内容について振り返り・考察	演習	谷内(彩)
2					
3					
4					
5					